

鳥の博物館年間行事予定 2024

無料開館日 5/12(日)Enjoy手賀沼、5/18(土)国際博物館の日、5/22(水)鳥の博物館開館記念日、6/15(土)千葉県民の日、11/2(土)・3(日)ジャパンバードフェスティバル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展等	～6/23(日) 第92回企画展「猛禽-タカ・フクロウ・ハヤブサ-」			7/13(土)～11/4(月・祝) 第93回企画展「山階芳麿博士の作った図鑑 -『日本の鳥類と其の生態』ができるまで-」				施設工事のため休館 11月～3月(予定)				
てがたん	4/13(土) 「てがたん20周年」	5/11(土) 「ツバメの子育て」	6/8(土) 「植物のなかま探し」	7/13(土) 「生きるための毒」	8/10(土) 「いろいろな虫たちの“幼虫時代”」	9/14(土) 「小さなアリに注目！」	10/12(土) 「タケってどんな植物？」	11/9(土) 「赤い実、食べた？」	12/14(土) 「飛ぶんだね 不思議だね 種の観察」	1/11(土) 「鳥インフルエンザから鳥たちを守ろう」	2/8(土) 「くらべてみよう鳥の体くちばし編」	3/8(土) 「身近な猛禽トビとミサゴ」
自然観察		5/12(日) 「バードウィーク手賀沼探鳥会 in Enjoy手賀沼」		7/15(月・祝) あびこ自然観察隊① 「手賀沼の魚をみよう」	8/10(土) あびこ自然観察隊② 「ツバメのねぐら観察会」		10/13(日) あびこ自然観察隊③ 「秋の谷津田観察会」		12/7(土) あびこ自然観察隊④ 「冬のカモ観察会」		2/16(日) あびこ自然観察隊⑤ 「観察しよう！手賀沼の冬鳥」	
講演会等	4/20(土) 「鳥のサイエンストーク」	5/18(土) 「鳥のサイエンストーク」	6/15(土) 「鳥のサイエンストーク」	7/20(土) 「鳥のサイエンストーク」	8/17(土) 「鳥のサイエンストーク」		10/19(土) 「鳥のサイエンストーク」 10月上旬「鳥博セミナー」(予定)	11/2(土) 「鳥学講座」	12/21(土) 「鳥のサイエンストーク」	1/18(土) 「鳥のサイエンストーク」	2/15(土) 「鳥のサイエンストーク」	3/15(土) 「鳥のサイエンストーク」
体験学習		5/4(土・祝) 「飛べ！鳥の紙ひこうき」 5/12(日) 「鳥の工作をしよう」			8月中の日曜日 「夏の遊びと研究大集合！」			11/2(土)、11/3(日) ジャパンバードフェスティバル(JBF) 鳥博のイベント ・てがたん in JBF ・鳥博クイズ ・ハシビロコウの帽子づくり				

第92回 企画展 猛禽 -タカ・フクロウ・ハヤブサ- ～6/23(日)

空のハンター、猛禽類。一般に猛禽類と呼ばれるタカ・フクロウ・ハヤブサは分類上のひとつのグループではなく、それぞれ独立に進化をとげた別のグループです。

獲物を捕らえることに特化した狩人としての生態や、体のつくりの秘密をご紹介します。



オオタカ



フクロウ

第93回 企画展 山階芳麿博士の作った図鑑 7/13(土)～11/4(月・祝)

—『日本の鳥類と其の生態』ができるまで—

山階鳥類研究所の創設者である山階芳麿博士は、1933-34年と1941年に『日本の鳥類と其の生態』という2冊の図鑑を出版しました。この図鑑は、通称「山階図鑑」と呼ばれ、出版から90年が経った現在においても、多くの鳥類の研究をする人たちに活用されています。今回は、山階鳥類研究所の我孫子市への移転40周年を記念し、これらの図鑑の内容や、山階博士をはじめとする製作にかかわった人々の仕事について資料と共にをご紹介します。



『日本の鳥類と其の生態』

●施設工事のため、11月から約4ヶ月間、休館いたします。期間中、屋外やオンラインでのイベントは開催します。

●イベントの詳細につきましては、鳥の博物館ウェブサイトまたは広報あびこでお知らせする予定です。

我孫子市鳥の博物館
〒270-1145
千葉県我孫子市高野山234-3
電話:04-7185-2212



鳥博ウェブサイト
QRコード